

甲 賀 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時		令和7年9月24日（水）9時40分～12時
開催場所		滋賀県警察学校第6教場
出席者	委員	武藤敬助委員（会長）、林初広委員（副会長）、上森秀夫委員、木村準子委員、脇阪昇委員、吉田昌孝委員、市井妙子委員、神山由美子委員
	警察	橋本署長、太田警務調査官、巡査2名
議事概要		1 署長挨拶 署長から「今日は、警察学校の卒業式を御覧いただき、若手警察官の育成方策や職場教養等による人的基盤の強化方策等について検討したいと考えている。委員の皆様からの活発な御意見・御質問を頂戴したい。」旨の挨拶がなされた。 2 視察 会議の途中で、初任科第130期短期生の卒業式の視察を行った。 3 議題 警察から、若手警察官の育成及び職場教養による人的基盤の強化についての説明があった。 その際、委員から「厳しい訓練を終えて立派に卒業され素敵だと感じた。現役の警察官の方にも敬意を表する。」、「早く慣れることも大事だが、初心を忘れずにいてほしい。」、「一般企業にはない雰囲気の中で、一生懸命な姿に感動した。」、「新たな気持ちを持たせてくれる場だった。若手警察官はメンタル面でギャップや悩みもあるだろうが、上司に伝えて少しでも解消してほしい。心に制服を着せ、健康第一で心身共に健やかに務めてほしい。」、「日本らしい厳粛な雰囲気の卒業式だった。目的をもって集まっただけあり、覚悟が違ふと感じた。」旨の意見があった。 また、委員から「警察を志そうと思った時や警察学校に入校した時、署で勤務する現在など、各ポイントでマインドの変化はあったか。現場を経験する前と後では思いが違ふのではないか。」との質問がなされ、巡査から「特技を活かして誰かを守りたいと思い警察官を目指した。緊迫した現場経験は少ないが、地域住民と触れ合う中で感謝を伝えられるとやりがいを感じ、子供たちが手を振ってくれるともっと頑張ろうという気持ちになれる。」旨の回答がなされた。 さらに、委員からの「今の目標とこれからの夢は何か。」との質問に、巡査から「まずは今置かれている立場で目の前の仕事に一生懸命取り組み、ゆくゆくは組織の中心となれるよう頑張りたい。」旨の回答がなされ、「警察官になって良かったと思うことはあるか。」との質問に対し、巡査から「ありがたいと言っていた時

は、大変な業務も平気に感じる。」旨の回答がなされた。

4 会長総括

会長から「若手警察官をいかに育てていくかが警察組織の大きな任務だと思う。委員の意見を反映していただき、一人前の警察官の育成に尽力いただきたい。」旨、述べられた。

5 次回協議会の日程

11月下旬又は12月上旬に開催予定